■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

昨年末の臨時総会で、日本技術士会北海道支部と北海道技術士センターが統合することになりましたが、「コンサルタンツ北海道」は北海道技術士センターの機関誌であったことに気づき、昭和 42 年に第 1 号を発刊して以来およそ 30 年間に亘った歴史も、今号をもって一区切りとすることになりました。

ここまで続けてこられたのも、一重に会員の皆様からのご支援と、先輩広報委員のご努力によるものと、改めて感謝申し上げます。

さて、毎年恒例の「創作四文字熟語」が昨年末発表されました。

北海道はまだまだ景気回復が実感できず、まさに「感無景気」のような気がします。さて今年はどうなるのでしょうか。安倍総理の「晋総開店」に期待して、「美治麗国」の言葉そのままに、何とか実感できる景気回復を願っていますが、2007 年問題も控えており、「再就団塊」に入ってきた感があります。

一方、科学技術の面では「除冥処分」があり、私なぞは水・金・地・火…と覚えてきたのに、何か尻切れトンボになった気がします。「逸修科目」のない科学技術教育を願っています。

防災面では、作業船が高圧電線を切断して首都機能がマヒし「首都拘束」にあたり、エレベーターをはじめとする製品不良は「器機一喝」の状態に陥り、「住民怒色」でありました。

ともあれ、昨年の北海道野球は惜しくも青ハンカチに「全国青覇」されましたが、プロ野球では「道喜乱舞」させてもらい、WBC でも優勝して「結果王来」となりました。

私も、「太胴恐囲」となった腹回りを気にしながら、「老若鍛脳」で脳トレに励み、「少子恒例」となった社会構造に、少しでも社会貢献できる人間となれますよう、努力していきたいと思います。

また、次号からも新体制のもとに会員皆様の情報発信と共有の場を提供して参りたいと思いますので、ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

(第 111 号 編集担当 大熊 正信)

お知らせ

日本技術士会北海道支部のメールアドレスは、以下のように変更になりましたので、お知らせ致します。

(旧アドレス) jimukyoku@ipej-hokkaido.jp

(新アドレス) hkd-eng@ipej-hokkaido.jp